

Ⅳ 道路改良事業：主要地方道福山沼隈線（福山沼隈道路）

（１）事業概要

- ① 事業箇所 福山市草戸町～福山市熊野町
- ② 規模等 道路延長：4,500m 車道幅員：14.0m（全幅員：20.0m）
- ③ 全体事業費 45,000 百万円（暫定２車線）（前回の再評価時は 39,000 百万円）
- ④ 工期 平成 12 年度～令和 11 年度（前回の再評価時は平成 12 年度～令和 7 年度）

（２）再評価の事由

知事が特に必要であると認める事業であるため

（３）審議内容

① 事業の内容と必要性

本事業は、福山都市圏の南方向の幹線道路として、一般国道 2 号福山道路と接続し、福山市中心部と市南西部及び沼隈町方面地域との連絡を強化する役割を担っており、県土の一体的発展を担う広域道路（交流促進型）として位置付けられている。

当該道路と並行する現道の主要地方道福山沼隈線は、主要渋滞箇所である洗谷交差点において、朝夕の通勤時間帯を中心に、慢性的な交通渋滞が生じている。このため、交通渋滞の緩和、交通安全の確保及び円滑な緊急活動や災害時の緊急輸送道路の確保等を目的として、当事業を推進していく必要がある。

② 事業を巡る社会情勢及び必要性等の変化

国勢調査によれば、福山市の人口は、平成 27 年度の 464,811 人に対し、令和 2 年度は 460,930 人と減少している。この傾向は、近隣の交通量に関しても同様で、道路交通センサスによれば、平成 27 年度が 15,299 台／日、令和 3 年度が 13,254 台／日と減少している。

しかしながら、前述のとおり、現道の主要地方道福山沼隈線は、現時点においても朝夕の通勤時間帯を中心に、慢性的な交通渋滞が発生するとともに、事業完成後には広島県第一次緊急輸送道路に位置付けられる予定であることから、数値に現れない効果が期待されるため、本事業の必要性についての変化はないと判断する。

③ 進捗状況と今後の見通し

用地取得や（仮称）長和 IC において法面崩壊の対策に時間を要していることにより、事業の完了予定年度が令和 7 年から令和 11 年度に延伸されたものの、現在は令和 11 年度の事業完了に向け、着実に工事が進められている。

④ 事業費の増減と現時点での費用便益比

前回の再評価時と比較し、全体事業費が 450 億円と、60 億円増加している。これは、物価上昇による工事費の増加や構造変更等によるものである。

費用便益比 B／C については、「費用便益分析マニュアル（令和 5 年 12 月 国土交通省 道路局 都市局）」に準拠して行われた分析によれば、評価期間を供用開始後の 50 年間、社会的割引率を 4.0％とした結果、前回の 2.4（総便益（B）：1,050.8 億円、総費用（C）：429.4 億円）から 2.5（総便益（B）：1,318.0 億円、総費用（C）：536.8 億円）と増加している。

⑤ その他特筆すべき事項

主要地方道福山沼隈線（福山沼隈道路）は、合併支援道路に位置づけられており、事業完成後には広島県第一次緊急輸送道路（広島県緊急輸送道路ネットワーク）に位置付けられる予定である。

（４）結論

事業の必要性と費用便益比を勘案し、当該事業の継続実施については適当と判断する。

関係各位には、コスト削減に取り組むとともに、予定としている令和 11 年度までに事業を完了させ、計画どおりの事業効果が得られるよう、一層の努力をお願いする。